

快適に暮らせるまち 万全な危機管理 適切なインフラ整備 豊かな自然環境の保全

- 出水対策事業 1億9,627万円**
埼玉県の忍川浸水対策重点地域緊急事業と連携し、校庭貯留施設の整備を進めます。また、老朽化したポンプ場の設備更新を行います。
- 防災士資格取得支援事業 196万円**
防災士養成講座を開催するとともに資格取得に係る費用を市が負担することにより、地域防災の担い手を育成し地域の防災力向上を図ります。
- 田んぼダム事業 853万円**
大雨や台風などによる河川流域の水害の軽減を図るため、水田貯留設備を整備します。
- 新規 災害現場中継システム整備事業 565万円**
災害対応ドローンおよび現場中継システムを導入し、リアルタイムで現場の映像を共有することで迅速かつ確かな災害対応を行います。
- 拡充 道路維持補修・新設改良事業 2億8,536万円**
狭あい道路や踏切道の拡幅整備、幹線道路の舗装修繕、通学路整備計画に基づく通学路の安全対策などを実施します。
- 幹線道路整備事業 1億400万円**
荒木須加幹線道路の拡幅整備を実施し、広域交通の利便性の向上や周辺住民の生活環境の改善を図ります。
- 橋りょう維持補修・新設改良事業 2億6,147万円**
橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、行田市駅跨線橋の耐震補強修繕工事などを実施します。
- 常盤通佐間線街路事業 1,350万円**
埼玉県と連携して、都市計画道路である常盤通佐間線の整備を進めます。
- 行田羽生資源環境組合負担金 5,105万円**
新ごみ処理施設の整備に向けて、行田羽生資源環境組合に対して負担金を支出します。
- 新規 公共施設照明LED化事業 9,510万円**
本庁舎、総合福祉会館および商工センターの照明LED化工事を実施します。
- 新規 小・中学校照明LED化事業 576万円**
令和5年度は、忍中、長野中、見沼中、太田中、西中学校の照明LED化工事の設計業務を実施します。
- 拡充 クビアカツヤカミキリ協働対策事業 65万円**
成虫を駆除した市民に市内共通商品券を交付します。また、活動団体と連携して駆除を行うことで被害の軽減・拡大防止を図ります。



救急救命講習の受講風景(防災士資格取得支援事業)

賑わいあふれるまち 賑わう都市拠点 稼ぐ観光・農産業 魅力ある就労環境

- 新規 景観計画策定事業 754万円**
忍城址や足袋蔵などの歴史・文化施設や、自然や眺望に関する景観資源を保全・活用し、景観まちづくりを推進するため、景観計画を策定します。
- 田んぼアート米づくり体験事業 1,000万円**
田んぼアートの作成により、行田産米や観光地行田をPRするとともに、農業体験を通じた交流の促進や農業への理解を醸成します。
- 拡充 行田はちまんマルシェ開催事業 200万円**
毎週日曜日のマルシェの開催に加え、「マルシェの学校」の開催により運営強化を図るとともに、目玉商品の開発などを行うことで、さらなる賑わいの創出を図ります。
- 新規 本丸児童公園蒸気機関車修復事業 779万円**
クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税による寄附を活用し、蒸気機関車の塗装・修繕を実施します。
- 水城公園東側園地再整備事業 1億70万円**
橋りょうの更新、ふれあい広場や東口広場の整備を行い、憩い・散策・遊びなど日常的な利用を通して誰もが安心して楽しめる環境を創出します。
- 行田おもてなし観光局による観光ブランディング事業 3,440万円**
一般社団法人行田おもてなし観光局が行う公益事業への補助を通じて、観光地としてのブランド化を図り、稼げる観光地づくりを推進します。
- 拡充 観光関連施設運営事業 1,271万円**
JR行田駅前観光案内所および忍城バスターミナル観光案内所で観光施設への案内やレンタサイクルの貸し出しなどを行います。また、さきたま古墳公園に整備したさきたまテラスゾーンの運営管理を行います。
- 拡充 攻めの農業支援事業 600万円**
6次産業化や農園開設、スマート農業化などを実施する農業者を支援します。令和5年度からは、特産農産物の生産団体を対象に補助上限額を引き上げ、さらなる事業効果の向上を図ります。



行田はちまんマルシェの開催風景

令和5年度の主な施策と予算額

住み続けたいまち 充実の子育て支援 質の高い教育 寄り添う地域福祉

- 中学校給食費無償化事業 9,773万円**
物価高騰対策として、引き続き中学校全学年の給食費を無償化します。また、食物アレルギーにより学校給食の提供を受けられない生徒や市外の中学校に通う生徒の保護者にも無償化分に相当する補助金を交付します。
※事業費には学校給食費の減収分を合算しています。
- 拡充 放課後児童健全育成事業 2億7,762万円**
19カ所の学童保育室で学童保育を実施します。令和5年度は児童センター内のみずしろ学童保育室を忍小学校校舎内へ移転します。
- 子ども医療費支給事業 2億2,375万円**
入院・通院とともに18歳に達する日以後最初の3月31日まで医療費の助成を行います。
- 拡充 不妊検査・治療費助成事業 200万円**
不妊治療費に対する保険適用が開始されましたが、検査費および治療費の一部助成など本市独自の支援を継続します。
- 新規 出産・子育て応援事業 2,899万円**
妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と経済的支援(出産応援給付金5万円と子育て応援給付金5万円の支給)を実施します。
- 学力向上支援事業 3,887万円**
学力向上支援教員を配置し、担任との2人体制によるきめ細かな授業を実施します。
- 学校ICT活用推進事業 7,625万円**
児童生徒1人1台の学習用端末や指導者用デジタル教科書を活用し学力向上を図ります。また、小中学校にICT支援員を派遣し、教員のICT活用技術の向上を図ります。
- 新規 水泳授業委託事業 535万円**
小学校2校で、民間スイミングスクールを活用した水泳授業を実施することで、天候や季節に左右されない水泳授業を可能とし、児童の泳力向上および教員の水泳指導技能の向上を図ります。
- 英語検定取得支援事業 231万円**
中学生を対象に英語検定の2次試験対策講座や検定料(4級以上)の補助を実施します。
- 拡充 地域共生社会推進事業 1,717万円**
地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制の構築に向けた準備として、訪問支援事業や社会参加支援事業に取り組みとともに、地域づくりの一環としてニーズ調査を行います。
- 新規 障害者基幹相談支援事業 412万円**
障害者相談支援事業所の支援を行い、課題解決に向けた取り組みなどで中核的な役割を担う基幹相談支援センターを、加須市・羽生市と共同で設置します。
- 新規 ひとり暮らし高齢者見守り事業 275万円**
シルバー人材センターと連携し、一人暮らし高齢者を対象に同世代による定期的な訪問・交流を通して安心感を生み出すとともに、心身の状態を把握し適切な支援へとつなげます。
- 地域公共交通事業 1億7,203万円**
市内循環バスの運行やデマンドタクシー事業、生活路線バスへの支援などにより市民の日常生活を支える交通手段を確保します。



学力向上支援教員が指導する授業風景

その他の施策

- 新規 プレミアム付商品券事業 6,700万円**
物価高騰対策として、プレミアム付商品券を発行し、市民生活の支援と地域経済の活性化を図ります。
- 新規 窓口業務改善事業 1,509万円**
ICT技術を活用した「書かない窓口」の本格稼働に合わせて、市民課窓口において発券機の導入やレイアウトの見直しを行います。
- 拡充 学校跡地活用検討事業 1,414万円**
太田東小学校跡地の新たな活用策を検討するため、地域のニーズと民間事業者などの利活用の可能性を把握する調査を行います。北河原小学校および須加小学校の跡地は、活用計画に基づき施設を活用する民間事業者を公募します。
- 星宮小学校跡地活用事業 7,556万円**
星宮小学校跡地の利活用のため、教育支援センターと埋蔵文化財センター(一部)を移転します。令和5年度は、教育支援センター移転に伴う改修工事などを実施します。
- 新規 スマートフォン講習会開催事業 170万円**
スマートフォンの初歩的な操作から、SNSの活用、市のオンライン手続きへの対応などの講習会を開催します。



星宮小学校跡地